

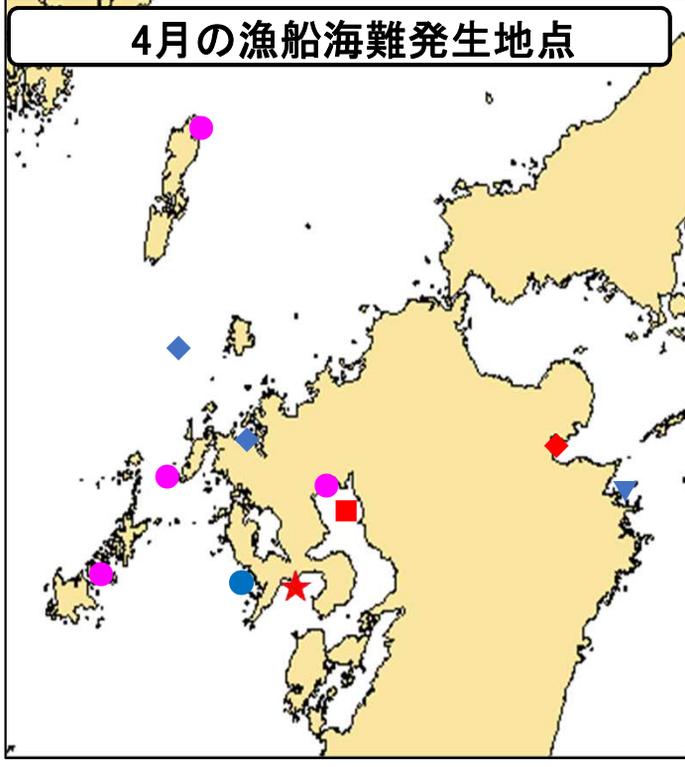
令和3年4月発生
七管内漁船海難 計11隻

令和3年4月累計32隻(前年26隻)
漁船海難発生隻数は前年に比べ6隻増加

漁船海難隻数 (速報値)	
衝突	★ 1
乗揚	● 4
運航不能 (機関故障)	■ 1
運航不能 (無人漂流)	◆ 1
運航不能 (有人漂流)	◇ 2
浸水	● 1
転覆	▼ 1
合計 11 隻 (昨年 3 隻) 死亡、行方不明者: 4件	

	県別内訳	
	4月	令和3年累計
山口県	0	3 (3)
福岡県	2	4 (7)
佐賀県	1	2 (2)
長崎県	6	19 (9)
大分県	2	7 (5)
合計	11隻	32隻 (26隻) ()は昨年同月

県別内訳表は、各県に所在する海上保安部署の担当海域にて発生した海難の合計数を示しています。数値は速報値です。



累計死亡・行方不明者数: 6名 (令和3年4月末日現在)

自船の位置を確認!

<事件事例(乗揚げ)>
 ・漁船A丸は夜間港に入港するため通常目標としている簡易標識の灯火と近くに設置されている漁具に設置された簡易標識の灯火を見誤ったため、岸よりに接近していることに気づかず航行したため針路上の陸岸に乗揚げ浸水したものの。



◎慣れた港でも漁船に設置されていたレーダー等を活用し自船位置を確認することや、船首方位の確認等を行っていただければ乗揚事故を防げた可能性があります。



注目 自船の位置は常に確認しましょう

